

令和5年度指定管理業務
指定管理者第三者評価委員会評価結果

岡崎市農林産物等展示即売施設
(おかざき農遊館・ふれあいドーム岡崎)

	I 適正性 評価	II 有効性 評価	III 効率・安定性 評価	総合評価
担当課当初評価	適	適	適	B
担当課当初評価に対する第三者評価結果	妥当	甘い	妥当	甘い
担当課最終結果	適	適	適	B

< 第三者評価意見概要 >

担当課の評価は、甘いと判断する。

適正性に関しては、指定管理者が様々な事業を実施し、集客を高めるための努力をされていることがうかがえる。

一方で、有効性評価に関しては、令和5年度運営計画書の中では生産者アンケートを実施することとしているが、事業報告書では未実施となっており、施設運営業務における利用者評価が適切に実施されていると判断することは困難である。アンケートによる利用者ニーズの把握や事業効果の測定をふまえたモニタリング評価を行い、より良い施設運営へ活かすことが重要であるため、今後の取組み方法等については検討されたい。

また、施設が十分に活用されていないと見受けられる場所があるため、適切な販売環境の整備による有効活用を図られたい。

指定管理者の取組みは利用者の増加や地産地消の推進に貢献していると評価できるため、今後は行政と綿密なコミュニケーションをとり、状況に即した施設運営がなされるよう期待したい。

なお、行政においては、現在の課題等を踏まえて、農業振興施策における施設のあり方を検討し、今後の施設運営がされることを期待する。

<担当課最終結果の説明>

※ 担当課が当初の評価から変更しない場合にその理由を記載

令和5年度はおかざき農業応援プロジェクトの実施にあたり、生産者への説明会での意見交換の実施、また、プロジェクトの実施後にはアンケートを行った。その結果をもとに指定管理者とともに分析しており、利用者ニーズの把握、さらにリピーター増加や売上上位農産物等を整理できたことで事業効果の測定はできたと判断し、利用者評価は適切に実施されていると考える。

また施設が十分に活用されていないという今回ご指摘の場所については、産直部会員の課題解決に向けた検討体制を立ち上げ、迅速に改善に向け対応を進めているため、今後の適切な販売環境に期待できる。

以上を踏まえて、Ⅱ有効性評価について「適」と評価する。